2026年12月期(FY2026)
第3四半期　連結決算報告

2026年11月

大幸薬品株式会社

証券コード：4574

目次

大幸薬品

1. 第3四半期　連結決算業績

2. 第3四半期　セグメント別事業概況

3. トピックス

Copyright ©2026　Taiko Pharmaceutical Co., Ltd. All Rights Reserved

1. 第3四半期　連結決算業績

連結経営成績

- 売上高は、海外医薬品事業の伸長により増収
- 原料・資材の値上げ、供給体制強化に伴うコスト増および広告宣伝費の増加により営業減益
  通期業績予想は変更なし

（単位：百万円）

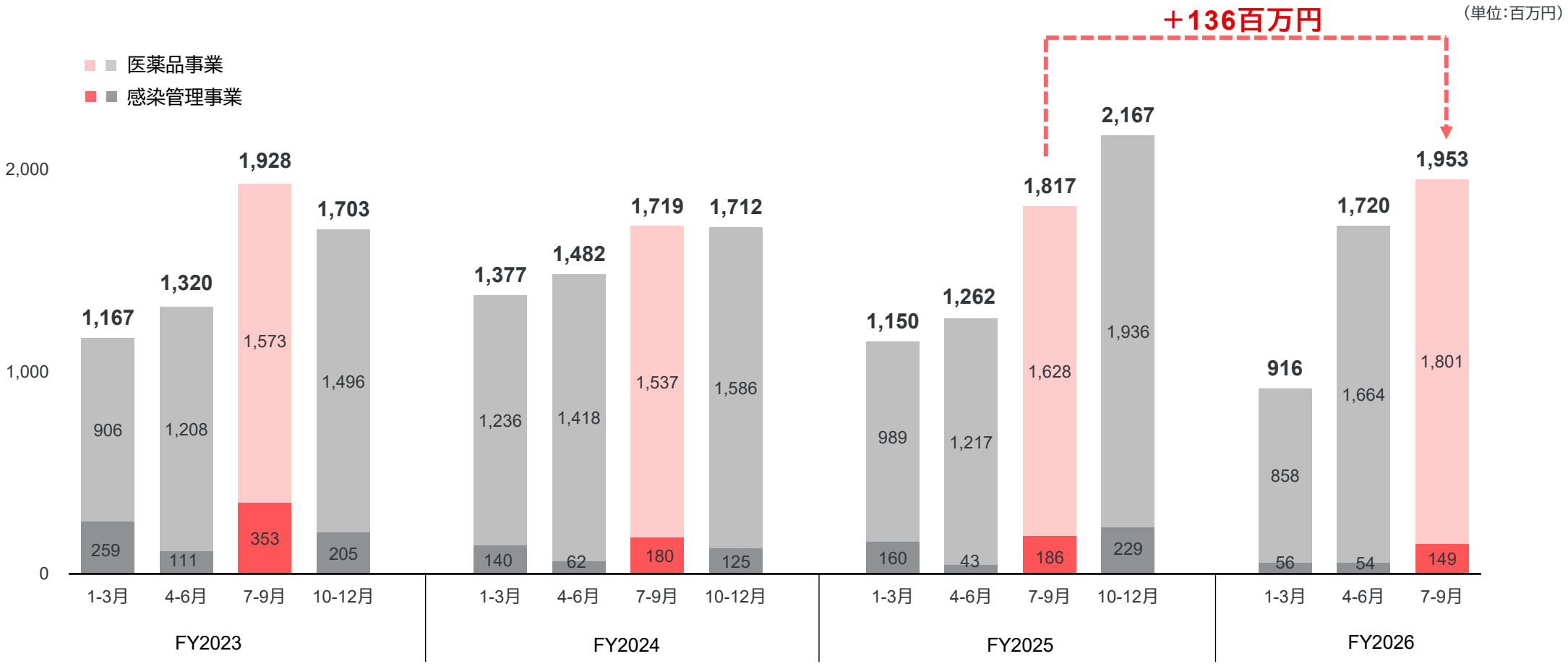
	FY2025		FY2026		増減額	増減率
	第3四半期累計実績	売上比	第3四半期累計実績	売上比		
売上高	4,229	-	4,589	-	＋360	＋8.5%
売上総利益	2,361	55.8%	2,404	52.4%	＋42	＋1.8%
販売費及び一般管理費	2,036	48.2%	2,247	49.0%	＋210	＋10.3%
営業利益	324	7.7%	156	3.4%	△167	△51.7%
経常利益	325	7.7%	171	3.7%	△153	△47.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	669	15.8%	169	3.7%	△500	△74.7%

Copyright ©2026 Taiko Pharmaceutical Co., Ltd. All Rights Reserved

連結売上高推移（四半期）

大幸薬品

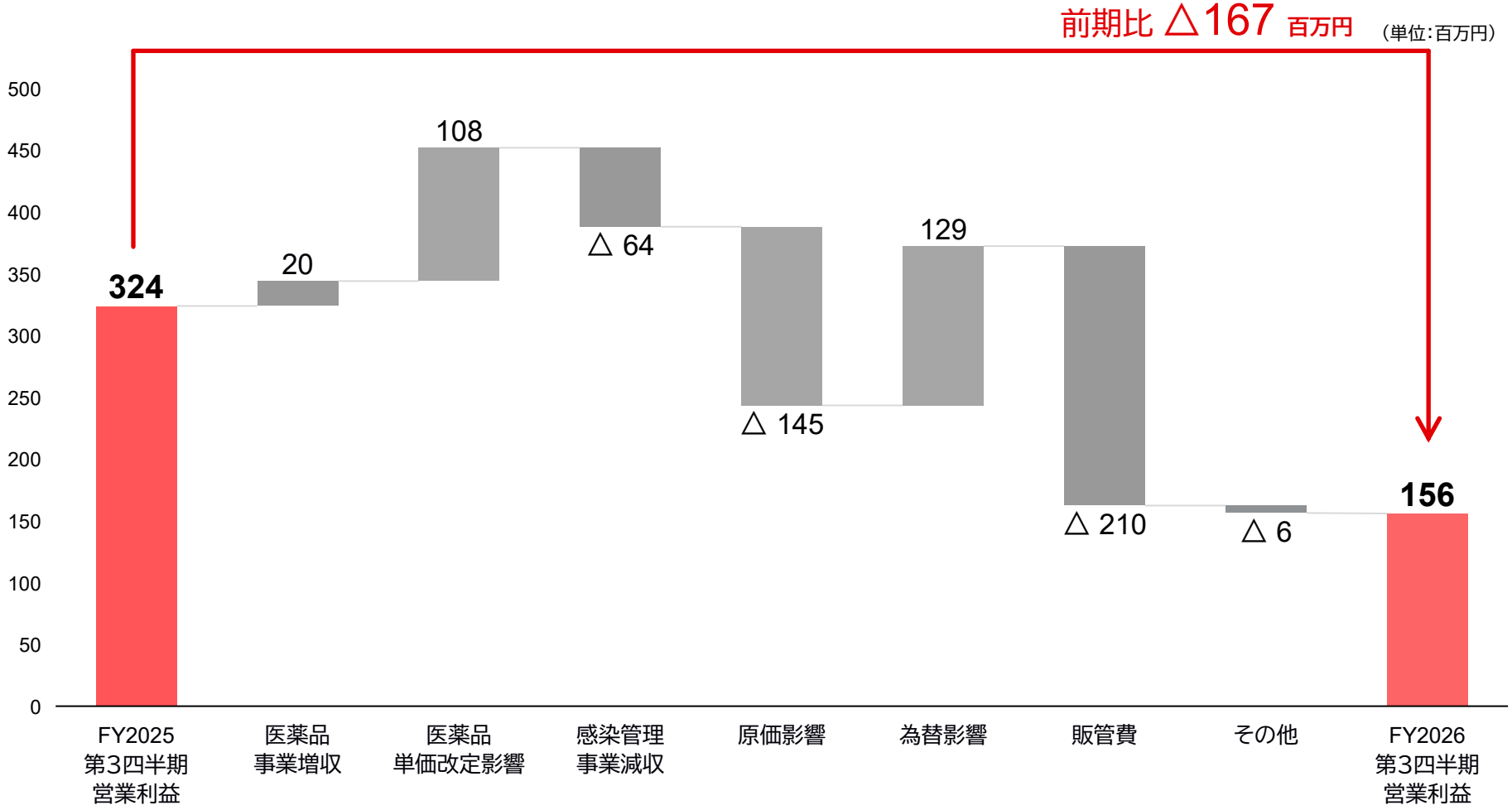
- 医薬品事業は、海外向けの出荷の増加により前年同期比で増収
- 感染管理事業は、一般用製品において、秋冬の需要期に向けた店頭配荷を9月より開始



Copyright ©2026 Taiko Pharmaceutical Co., Ltd. All Rights Reserved

営業利益の変動要因

- 海外医薬品事業の増収や単価改定影響、為替影響が業績に寄与
- 原料・資材の値上げ、供給体制強化に係るコスト増や一時的な歩留まり低下による原価影響に加え、マーケティング施策に伴う販管費の増加が影響



Copyright ©2026 Taiko Pharmaceutical Co., Ltd. All Rights Reserved

販売費及び一般管理費

大幸薬品

- 国内・海外市場における販売拡大に向けたマーケティング施策により、広告宣伝費が増加
- 人件費は、昇給等に伴う増加

（単位：百万円）

	FY2025		FY2026		増減額	増減率
	第3四半期累計実績	構成比	第3四半期累計実績	構成比		
販売費及び一般管理費合計	2,036	-	2,247	-	＋210	＋10.3%
販売費	481	23.6%	661	29.4%	＋180	＋37.5%
広告宣伝費	321	15.8%	514	22.9%	＋192	＋59.9%
販売促進費	82	4.0%	79	3.5%	△2	△3.4%
運送費	77	3.8%	67	3.0%	△9	△12.8%
人件費	900	44.2%	920	41.0%	＋20	＋2.2%
その他経費	655	32.2%	665	29.6%	＋10	＋1.6%
研究開発費	145	7.1%	124	5.5%	△21	△14.5%
支払手数料	232	11.4%	240	10.7%	＋8	＋3.6%

Copyright ©2026 Taiko Pharmaceutical Co., Ltd. All Rights Reserved

経常利益・四半期純利益

- 営業外費用は、為替差損の減少により前年同期を下回る
- 前年同期に計上した投資有価証券売却益、為替換算調整勘定取崩益等の反動により四半期純利益は減益

（単位：百万円）

	FY2025 第3四半期累計実績	FY2026 第3四半期累計実績	前年同期比	増減要因等
営業利益	324	156	△167	
営業外収益	29	24	△4	主に当期受取保険金減少
営業外費用	29	10	△19	主に当期為替差損減少
経常利益	325	171	△153	
特別利益	502	-	△502	前期：投資有価証券売却益　347百万円 為替換算調整勘定取崩益　140百万円
特別損失	6	1	△4	
税金等調整前四半期純利益	821	169	△651	
法人税、法人税等調整額	151	0	△150	
親会社株主に帰属する四半期純利益	669	169	△500	

Copyright ©2026　Taiko Pharmaceutical Co., Ltd. All Rights Reserved

連結財政状態

■ 資産は、棚卸資産や有価証券が増加した一方、現金及び預金や売上債権の減少等により前期末を下回る
■ 負債は、1年内返済予定の長期借入金の返済や未払金の減少等により前期末から減少

（単位：百万円）

	FY2025 期末	FY2026 第３四半期	前期比	増減要因等
流動資産	8,433	7,484	△948	
現金及び預金	4,256	2,397	△1,859	
売上債権	2,450	2,289	△161	
棚卸資産	1,619	2,029	＋409	医薬品在庫 1,837百万円 感染管理在庫 180百万円
その他	106	768	＋662	有価証券の増加
固定資産	3,837	3,924	＋87	
資産合計	12,270	11,408	△861	
負債合計	3,752	2,870	△882	1年内返済予定長期借入金の返済 未払金の減少
純資産合計	8,518	8,538	＋20	
負債純資産合計	12,270	11,408	△861	
自己資本比率	69.4%	74.8%		

Copyright ©2026 Taiko Pharmaceutical Co., Ltd. All Rights Reserved

2. 第3四半期　セグメント別事業概況

セグメント別事業概況

- 医薬品事業　：海外向け販売の伸長により増収となるも、売上原価やマーケティング費用の増加等により減益
- 感染管理事業：減収となるも、マーケティング費用の抑制などによりセグメント損失は改善

（単位：百万円）

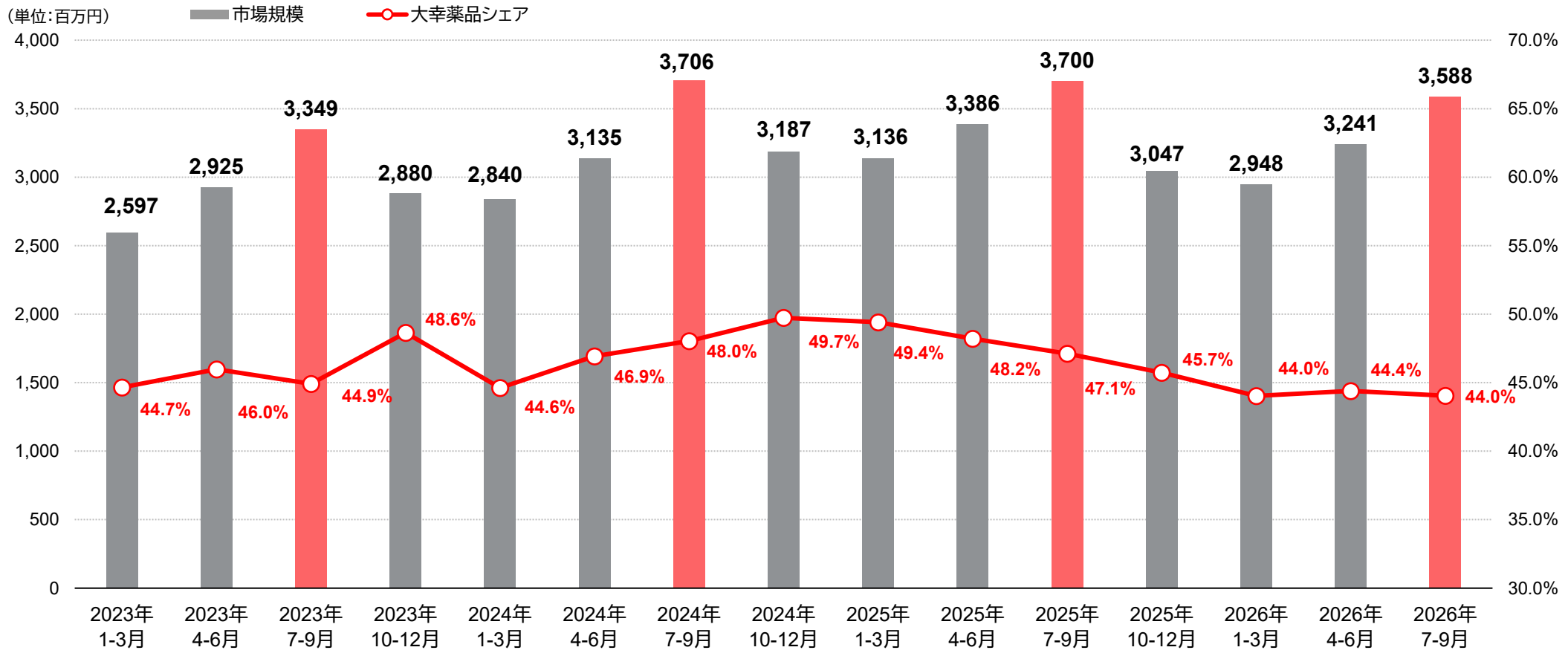
		FY2025 第3四半期累計実績	FY2026 第3四半期累計実績	増減額	増減率
医薬品事業	売上高	3,835	4,324	＋489	＋12.8%
	セグメント損益	1,094	935	△159	△14.6%
	利益率	28.5%	21.6%	-	-
感染管理事業	売上高	390	261	△129	△33.1%
	セグメント損益	△143	△79	＋63	-
	利益率	△36.7%	△30.6%	-	-
その他事業	売上高	4	3	△0	△16.2%
	セグメント損益	△12	△23	△11	-
	利益率	△273.8%	△621.0%	-	-

Copyright ©2026　Taiko Pharmaceutical Co., Ltd. All Rights Reserved

国内止瀉薬市場規模・シェアの推移

- 国内止瀉薬市場は、前年同期比（1月-9月）で95.6%と低調に推移
- 期初より当社シェアは、44%程度で推移しているものの、今後の商品ラインナップ拡充によりシェア回復を目指す

国内止瀉薬市場



※出所：株式会社インテージSRI+、店頭小売価格ベース

Copyright ©2026 Taiko Pharmaceutical Co., Ltd. All Rights Reserved

国内医薬品事業　業績

- 正露丸の供給不足に加え、競合他社製品の供給再開やインバウンド需要の減少等により減収
- 増産に必要な設備更新・生産体制の構築を完了し、2026年9月頃から「正露丸200粒」の供給を再開

（単位：百万円）

製品カテゴリー別売上高	FY2025 第3四半期累計実績	FY2026 第3四半期累計実績	増減額	増減率
国内医薬品事業売上高	2,718	2,387	△330	△12.2%
正露丸	1,360	1,093	△266	△19.6%
セイロガン糖衣A	1,516	1,399	△116	△7.7%
正露丸クイックC	209	191	△18	△8.7%
その他 ※1	86	89	＋2	＋3.3%
返品・値引・協賛等	△453	△386	＋67	-

※1 整腸薬「ラッパ整腸薬BF」、止瀉薬「ピシャット」

正露丸



セイロガン糖衣A



セイロガン糖衣A 携帯用



正露丸クイックC



ラッパ整腸薬BF



ピシャット下痢止めOD錠



Copyright ©2026　Taiko Pharmaceutical Co., Ltd. All Rights Reserved

海外医薬品事業　業績

- 海外向けは順調な供給・出荷に加え、価格改定影響もあり、前年同期比で増収
- 中国・香港・台湾の主要市場での販売拡大に向け、営業・マーケティング施策を展開

（単位：百万円）

地域別売上高

	FY2025 第3四半期累計実績	FY2026 第3四半期累計実績	増減額	増減率
海外医薬品事業売上高	1,116	1,937	＋820	＋73.5%
中国	435	1,052	＋617	＋141.7%
香港	422	621	＋198	＋47.1%
台湾	166	217	＋50	＋30.6%
その他対象エリア　※	92	45	△46	△50.4%

※　米国、カナダ、タイ、マレーシア、モンゴル等

SEIROGAN®

正露丸



セイロガン糖衣A



Copyright ©2026　Taiko Pharmaceutical Co., Ltd. All Rights Reserved

感染管理事業　業績

- 国内一般用は、前年同期のインフルエンザ流行の反動による市場縮小の影響を受け減収
- 国内業務用は、通期での増収に向け新規開拓強化

（単位：百万円）

対象顧客別売上高

	FY2025 第3四半期累計実績	FY2026 第3四半期累計実績	増減額	増減率
感染管理事業売上高	390	261	△129	△33.1%
国内一般用	323	158	△164	△50.9%
国内業務用	128	124	△4	△3.6%
海外	27	35	＋7	＋26.5%
返品・値引・協賛等	△89	△57	＋32	-

一般用



置き型2ヶ月用



スプレー250ml

業務用



パウチ　30㎡



Gスティック



pro　置き型10㎡

Copyright ©2026　Taiko Pharmaceutical Co., Ltd. All Rights Reserved

3. トピックス

創立80周年の節目に、創業の地・大阪でブランド発信を強化

大幸薬品

大阪の生活動線におけるリアル接点と公式Xを活用したデジタル接点を組み合わせ、ブランド発信を強化

01 Osaka Metro御堂筋線ラッピング車両



- Osaka Metro御堂筋線を走る1編成の先頭2両（1号車・10号車）を『正露丸』と『正露丸クイックC』のパッケージデザインでラッピング
- 車両の正面と側面には、「ニッポンのお腹トラブルに。」のメッセージを掲載
- 運航開始から12月9日(水)までの1カ月間は、車両のヘッドマークを当社シンボルである「ラッパのマーク」にした特別仕様で運行

02 Osaka Metro四つ橋線　本町駅　駅構内トイレに広告掲載



- Osaka Metro四つ橋線本町駅
  駅構内の男女それぞれのトイレ入口・個室外ドア・個室内ドアの3接点で『正露丸』シリーズを訴求

- **トイレ入口**
  「通勤中、ギュルっときたら。大阪生まれ、ラッパのマークの正露丸」のメッセージを掲出。
- **個室外ドア**
  『正露丸クイックC』と『セイロガン糖衣A 携帯用』のパッケージを大きくプリント。
  巨大なパッケージが立っているようなビジュアルに。
- **個室内ドア**
  「通勤中、ギュルってなる原因」と題し、通勤中に起こりやすいお腹トラブルの原因を解説。

Copyright ©2026　Taiko Pharmaceutical Co., Ltd. All Rights Reserved

期間：2026年11月10日～2027年11月9日　※運行内容や掲載期間は予告なく変更になる可能性があります。

大幸薬品

将来情報に関する注意事項

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません